

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくり
などについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.15

社会福祉法人 博愛会 八天の里デイサービスセンター

「ふつう」に働けることが、いちばんの配慮
— いっしょに働くことが自然な職場のかたち —

1993年の設立以来、地域に根ざした“心温まるケア”をモットーに利用者とそのご家族が安心できる福祉サービスを提供する「博愛会」。「八天の里デイサービスセンター」では、北上市の更木・黒岩・二子地区を中心に介護サービスを提供し、地域に暮らす高齢者のイキイキとした暮らしを支えています。

<http://hakuaikai-kitakami.or.jp/>

所在地：[本部] 岩手県北上市立花10地割38番地

「ふつう」に働けることが、いちばんの配慮

－ いっしょに働くことが自然な職場のかたち －

#介護施設のマッサージの仕事

#視覚障がい

#機能訓練指導員

#お互い様の精神



ささき せいや
佐々木 星矢(37)

勤続7年/視覚障がい
マッサージ師・機能訓練指導員

以前は在宅訪問でマッサージの仕事をしていたのですが、母が介護施設でマッサージの仕事をしていて、私も働いてみたいと思うようになりました。そんなとき、こちらからマッサージ師の求人が出ていたので応募しました。

母も視覚障がい者なのですが、「介護施設はいつもたくさん人がいて、にぎやかで楽しい」という話をされていて、実際その通りだと思いました（笑）在宅訪問をしていたときは、家の中を誘導してもらっていても、初めての家だと常に緊張があって、段差につまずいたり、どこにモノがあるかわからなくてモノにぶつかったりすることもありました。その点、こちらだと働く場所は同じですし、そういう緊張もなくて働きやすいです。

在宅訪問のときは1日8人くらいでしたが、今は20人前後の方をマッサージしています。コツがあるので、大変だと感じたことはないです。それに、マッサージにチカラは必要ないんです。それよりも、しゃべることが好きなので、いろいろな方とお話できるのが楽しいです（笑）利用者さんから「すごく気持ちよかった」とか「ラクになった」とか「ありがとう」と言われると、マッサージ師をしていてよかったと思います。

私の障がいを職場のみなさんは理解していただいていて、すごく忙しいなかでもお願いすれば誘導してもらえますし、働きやすい職場だと思います。職場のみなさんすごく明るくて、

周りにもにぎやかですし、毎日楽しく仕事をさせていただいています。それに昼はこちらで食べるのですが、栄養のバランスもしっかり考えられた温かい食事を毎日食べられるのは有難いです。在宅訪問のときは、外を回るのでどうしても冷たい弁当になるので（笑）





一人ひとり体格も体調も痛みや張りなどの症状も違うので、もっともっと一人ひとりに合わせたマッサージができるようになりたいと思っています。私の両親も視覚障がい者でマッサージ師をしていて、特に母からは「マッサージ師の仕事は死ぬまで修行だ」と言われていて、この仕事を長くしていると本当に「そうだな」と思うので、もっともっとマッサージ師の腕を磨いていきたいですね。

佐々木さんは朗らかで明るい性格で、利用者さんのお話にいつも丁寧に耳を傾けながらマッサージや機能訓練をされています。佐々木さんの声って施設内にがにぎやかでもよく通るんですよ。耳が聞こえにくい利用者さんも佐々木さんの声は聞き取りやすいみたいで、すごくスムーズに会話ができているないつも感心しています。

それに利用者さんのちょっとした変化にも気づいて私たちに教えてくれるので、他の職員とも情報共有して利用者さんの体調管理に役立っています。利用者さんも

リラックスしながらマッサージや機能訓練を受けているのが伝わってきて微笑ましいです（笑）佐々木さんが休みだと、「あれ、今日はマッサージの先生休みなの？」とみなさんよく聞いてきますよ（笑）

「八天の里デイサービスセンター」には、佐々木さんの他に心臓疾患の方が1人いらっしゃいます。その他の施設にも、心臓疾患の方が2人働いていらっしゃいます。その方に合った仕事をさせていただいて、あとは重いものを持たないとか、走らないように気をつけるくらいですね。それ以外は他のスタッフと同じように仕事をされています。スタッフもみんなそうだと思うのですが、「障がい者」という認識ではなくマッサージ師さんという職種の方が「たまたま目が見えなかった」という感覚でいるので「障がい者の方だから特別に何かをする」ということはありません。一緒に働く仲間

さとう もとこ
佐藤 素子^{所長}
にも一緒に
お話聞きました！



として、困っていることがあったらお互い助け合いますし、佐々木さんで言えば目が見えないなら「誘導のお手伝いをする」という感じです。私自身も1歳4ヵ月と7歳と9歳の子どもがいて子育てしながら働いていますが、大変ながらも仕事と子育ての両立ができているのは、職場の理解とサポートのお陰です。みなさんそれぞれ悩みや問題を抱えながら働いていると思うので、「お互い様の精神」が大事なのかなと思います。